

北岳・キタダケソウ山行報告

【山城】南アルプス・北岳

【日程と天気】2015年6月28日～29日 晴れ

【メンバー】CL 菊池、菅井

【行程】

1日目：千葉松ヶ丘IC 2:00 過ぎー（5:00 過ぎ）芦安駐車場ー6:00 発バスー広河原 7:00 過ぎー白根御池小屋ー13:20 肩の小屋 13:45ー北岳山頂ー水平道(キタダケソウ観察)ー山頂ー17:30 肩の小屋(泊)

2日目：肩の小屋(朝食後)5:20ー北岳山頂ー吊尾根を5分～10分下る（鎖場直後、木で土止めしてあるジグザグ登山道を4曲りほど下った左側に踏み跡が1m弱）ーキタダケソウ群落ー山頂ー肩の小屋 7:47ー白根御池小屋ー11:55 広河原ー12:00 バスー芦安駐車場ー温泉入浴ー18:00 千葉自宅



吊尾根キタダケソウ群落付近から間ノ岳カールを俯瞰



・キタダケソウは北岳山頂付近だけに梅雨時の6月中旬～6月下旬が旬の固有種である。10年ほど前にちば山でツェルト泊によるキタダケソウ山行が実施され、小生もエントリーしていたが、直前に「魔女の一撃」・ギックリ腰で不参加となり涙をのんだ苦い経験がある。この数年、年金年齢になり、体力の衰えを実感してくると、なんとかキタダケソウを見ておきたいと、年々慄れが強くなっていた。昨年・1昨年は6月最終週まで鳥海山や乗鞍岳で山スキーの魅力に引き込まれ、しぶとく楽しんでしたが、今年は残雪が少なく、3週間ほど季節が早く進んだため、5月末に山スキーシーズンを終了した。残念というかラッキーというか6月に入ると花を愛でる山行に精力を注ぐことに気持ちをきっぱり切り替えることができた。

・今年の梅雨は関甲信地区では今のところ空梅雨気味である。土日だけでは、実現できるかどうか不安であったため月曜日に年休を取得しておき、またランニングなどでトレーニングを続け万全の態勢で臨んだ。その結果28～29日は願ってもない登山日和となり憧れのキタダケソウを見ることができ大感動の山行であった。

・北岳登頂は今回で2回目である。20年以上前の初回は8月下旬、大樺沢から八本歯コルに達し、その時に見た雄大な間ノ岳カールに大感動した思い出が忘れられなく、この風景を撮影することも今回の目的であった。立派な白根池小屋経由は初めてであり、稜線までの標高差700mほどの急登は、かなり辛くゆっくり焦らず進んだ。バッドレスの岩

壁、雪解け直後に咲き始めた花々、ショウジョウバカマなどを楽しみながら、癒されながら高度を上げると、シナノキンバイの大群落の草つきに到達、稜線に達すると登山道わきに、残雪が残っていた。



・稜線の小太郎分岐点から山頂までは30分ほど、振り返ると鳳凰三山・甲斐駒、行く手の左側にはハクサンイチゲの群落の向こうに仙丈岳、まさに疲れを忘れる稜線散歩が待っていた。残雪の残る北岳山頂をバックに記念撮影も行った。



・休憩時間を含んで6時間20分で順調に肩の小屋に到着、時間も十分あるため、山頂から水平道へキタダケソウ観察に出発した。老体の二人で、疲労しているため、かなりのゆっくりペース、水平道に到達した時点でかなり遅くなっており、残り時間は10分ほど、水平道のキタダケソウはほぼ終わっており、多数のハクサンイチゲの群落の中ではなかなか見つけられない。やや焦りながら木道の初めのところまで進むと、漸くややおれかけたキタダケソウを2株見つけ大喜び、もう一つの木道を過ぎるとさらに4株ほど生きの良い花を見つけ撮影した。15:40のリミットとなり引き返し頂上へ向かったが、Sさんの足取りが重い。小休憩と行動食を摂取し何とか16:40ころ漸く頂上まで達した。記念撮影の後、慎重に下り17:30過ぎ漸く小屋に到着した。

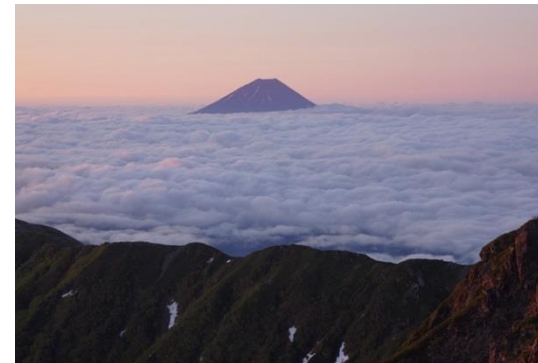
・夕食までの時間、キタダケソウを見れた満足感、夕方の西日を浴びてのブロックン現象、夕陽に照らされた甲斐駒岳を見ながら、缶ビールで乾杯、隣人と談笑を楽しんだ。明朝、再び頂上まで行き間ノ岳のカールの撮影をしたいと考えていたが、キタダケソウは水平道の状況では、再度行くのは時間もかかりすぎ、あまり期待できないため気が進まなかった

が、高齢の女性グループが頂上の近くの吊尾根の群落の地点を詳細に教えてくださったため、夕食前には、明朝、その群落をまた見に行く気になっていた。

・夕食を待つ間にSさんは大腿筋が痛くなり、けいれん状態となり難儀した。夕食は時間をかけて済ませ、芍薬甘草湯を飲ませ、何とか布団に入る頃には症状は軽快、すぐに就寝、翌朝にはすっかり回復していた。健脚で鳴らしたSさんも、ややオーバーペースであったようだ。



・2日目の朝は、絶好のご来光日和、大勢の方がカメラを構えていた。雲海上の富士山が素晴らしかった。



・十分な睡眠と朝食をしっかり摂取し5:20頃出発、昨日とは違った軽快な足取りで山頂に向かった。そして昨夕とは違った元気な顔貌で記念撮影、吊尾根のキタダケソウの群落も簡単に見つけれ、大興奮。帰路、キタダケソウ観察に向かう方々に群落のポイント(地図B)を詳しく教えながら小屋に帰った。



・肩の小屋で記念撮影の後下山開始、白根御池小屋経由で往路を下山、12:00 発のバスの間に合い、芦安駐車場にある温泉で汗を流し、夕方6時には自宅に到着した。



